

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

・日本語教育学領域を除く3領域の特殊講義がオムニバス形式で3人から4人の教員による授業がなされている。授業評価の結果を見る限り、かなり高い評価を受けている。特に新入生にとってはこれから自分が勉強していきたい分野や事柄をつかむためのいい指針になっている。これらの授業評価を今後の授業運営に反映させていく。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

・少人数教育の実施については、2008年度春学期を見ても44科目中4科目が10人から12人の履修者になっており、あとはすべて一桁の履修者であるところから問題はないと判断している。
・マルチメディアを活用した授業については、「マルチメディア教育特殊講義」、大規模なテキストデータを機械分析することで言語の様々な特徴を明らかにしようとする「コーパス言語学特殊講義」、「英語インターネット」等マルチメディア関連授業を開講するとともに、その他の授業においてもPCを使用する機会が多く、インターネット、パワーポイント等を活用して授業が行われている。

学内第三者評価

教育方法の一つの試みが実践され、その成果についても有効であると認められる。
他の施策、例えばマルチメディアを活用した授業に関しての実践の検証は行われているのであろうか？

なお、学外委員からは以下の意見があった。
2003年度設定目標のうち、マルチメディアを活用した授業や少人数教育の実施については記述がないので、検討状況を記入する必要がある。